

東京病院ニュース

第32号 2011年7月1日発行



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院
〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1
TEL 042(491)2111 FAX 042(494)2168
ダイレクト・イン・ダイヤル 042(491)4134
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/tokyo/>

第86回日本結核病学会総会の報告

去る平成23年6月1日～3日、第86回日本結核病学会総会を私の会長の下で、東京都千代田区の日本教育会館および大妻講堂にて開催しました。会長が東京病院院長としては片山名誉院長から16年ぶりであります。

かつて結核の高蔓延国であった我が国では、有効な抗結核薬出現を得て、戦後強力な結核対策を導入してきました。昭和26年の結核予防法大改正以後約10年、昭和36年(1961年)にBCG接種、健康診断、患者管理制度の確立などによる我が国の包括的な近代的結核対策が完成し、その後の結核対策は基本的にはそれを基に施行されてきました。平成23年(2011年)はそれからちょうど50年に当たります。そしてその間に我が国の結核患者は大幅に減少し、近年従来からの結核対策の見直しが進められる中、我が国では中蔓延国から数年後には年間結核罹患率人口10万対10以下の低蔓延国へとなることが予想されます。いっぽう世界的には、現在結核は今だに年間800～900万人の新規発生が推測され、地球上の最大の感染症であり続けると共に特に発展途上国では公衆衛生上最大の課題の一つとなっています。医療において高度先進国でありながら結核では中蔓延国である我が国は、その結核対策において世界から求められる役割が極めて大きいことを踏まえつつ、本総会では低蔓延化への入り口にある我が国の、官民挙げての今後の結核対策構築をテーマとしました。具体的には「包括的結核対策50年を記念して—低蔓延化へ向けて—」をテーマに、第一に結核病学会と結核予防会の共催により、国の方向性を具現化していく厚労省、我が国の結核入院患者の40%の受け皿となっている国立病院機構、対外的窓口としての結核予防会の3者による合同シンポジウムを企画し、さらに結核予防会総裁秋篠宮紀子妃殿下にご臨席を賜りお言葉をいただきました。また妃殿下におかれましては「結核に関する人々の意識と行動」のご演題名にてご自身の研究成果もご発表になっておられます。プログラムとしてはその他に海外招請講演3、特別講演1、教育講演4、シンポジウム6(一つは東アジアの連携を目指したinternational session)、

国立病院機構東京病院長 中島由槻
ミニシンポジウム5(初めてのビデオ演題導入)、要望課題と一般演題211題が企画され、会長講演1を加えて全部で260題を越えた発表・討論が活発に為されました。ところで今年度から結核病学会では若い医師に結核への関心を広める意義で抗酸菌症認定医・指導医制を導入しましたが、学会総会での生涯教育セミナー出席がその認定要件の一つとなっており、本総会ではその第1回として5シンポジウムが生涯教育セミナーに認定されました。それらの要因も相まって、本総会の登録参加者は過去最高の2倍弱となる1340人を越え、結核病学会総会としては総計1500人を越える方々が会場にいられたと推測されます。また通常6題程度の共催セミナーがランチョン9題、イブニング2題とこれらも盛況でした。以上より、当初予定された規模よりかなり拡大したものとなり、震災後の開催の適否、一部会場変更、その他準備遅れでプログラム発行が大幅に遅れるなど多くの問題が生じましたが、総会そのものは狭い会場でごった返したものの、関係者多数のご協力の下大きなトラブルもなく無事終了することが出来ました。なおプログラム最後にICD講習会が開催され、総会とは別個に約700名程度の参加者がありました。

今回の結核病学会総会開催が、より多くの方々が結核への関心を持つきっかけとなれば、その開催意義は大いにあったと思います。以上、報告します。



呼吸器センターの立ちあげ

東京病院はその経緯から呼吸器疾患を中心とした高度専門医療施設を目指すいっぽう、一般病院として地域医療を積極的に担うべく、地域連携を進め、昨年8月には東京都から救急告示病院に認定されました。前者については平成21年度結核の延べ入院患者数および呼吸器科延べ入院患者数は、近畿中央胸部疾患センターを越えて全国NHQ 143施設の第1位であります。現在呼吸器科では非結核180～190床、結核75～80床を呼吸器科常勤医17名、研修医・レジデント14名で診療しています。さらに近年、呼吸器内科医による局所麻酔下胸腔鏡検査数も日本のトップクラスとなり、また咯血

に対する治療も積極的に行い、いずれ関西の岸和田病院をモデルに咯血センターも立ち上げる予定です。以上のような背景の中で、それぞれの医師の得意分野をアピールし、診療・研究における当院の役割をより明確にするために、昨年10月図のように呼吸器疾患センターを院内辞令にて立ちあげました。この呼吸器疾患センターは現在でも名実共にセンター的役割を果たしており、いずれ多摩地区→東京都→関東圏・・・のセンターとして伸びて行く事が期待されます。

平成23年6月29日

国立病院機構東京病院長 中島由槻

センター長 赤川志のぶ				
内科部門	悪性腫瘍	田村厚久	肺癌	田村厚久
			放射線治療	三上明彦
			緩和ケア	永井英明
	結核	豊田恵美子	結核	長山直弘
				大島信治 有賀晴之
	呼吸器感染症	永井英明	肺炎（一般感染症）	永井英明
			非結核性抗酸菌症	永井英明
			肺アスペルギルス症（真菌症）	鈴木純子
			HIV	永井英明
	気道疾患	不在	慢性閉塞性肺疾患（COPD）	不在
			気管支喘息	大島信治 （アレルギー科兼任）
	びまん性肺疾患	赤川志のぶ	びまん性肺疾患（間質性肺炎）	川島正裕
	呼吸管理	松井弘稔	慢性呼吸不全	松井弘稔
			睡眠時無呼吸症候群	
	診断治療	益田公彦	気管支鏡	山根章
胸腔鏡（胸膜）			益田公彦	
気管支動脈塞栓術（血痰・咯血）			川島正裕	
血清診断			有賀晴之	
呼吸機能			松井弘稔	
外科部門	胸部外科手術	竹内恵理保	開胸手術、胸腔鏡手術	竹内恵理保
リハ部門	呼吸リハビリ	新藤直子	呼吸リハビリ	新藤直子
病理部門	病理診断	蛇澤晶	病理診断	蛇澤晶

臨床研究部長 ご挨拶

1990年7月より病理医および臨床検査科長として当院でお世話になっておりましたが、本年4月より臨床研究部長を拝命しました。よろしくお願いたします。

本院臨床研究部は臨床研究を推進するために1987年に設立され、米田良三先生が初代臨床研究部長になられた後、小松彦太郎、宍戸春美、倉島篤行、庄司俊輔の先生方が部長を勤められ、私で6代めとなります。その間、結核症・肺非結核抗酸菌症・抗菌薬・結核後遺症・肺アスペルギルス症・肺癌・喘息などの肺疾患に関して診断・治療の両面で多数の業績が蓄積されたほか、Human immunodeficiency virus (HIV) 感染症 (Acquired immunodeficiency syndrome : AIDS) では多くの病院に先駆けて患者さんを引き受け、病態解析や治療に関して研究実績が上げられてきました。特に、HIVに合併した結核症に関しては多施設の追随を許しておりません。また、肝領域ではB型・C型肝炎ウイルスを中心とした検討が持続的に行われてきています。カイロン社がC型肝炎ウイルスの検出法を開発した際に、本邦で評価するためにまず、当院に保存されていた術後肝炎症例の血清が使われたことは有名な話です。他にも、リハビリテーション・神経内科・消化器部門でも多数の報告が行われてきています。

ただ最近までは、医師部門・薬剤部門を中心とした臨床研究部の観が否めない状況でしたが、前臨床研究部長の庄司先生の方針で、昨年度から看護研究室が新設されたほか、他職種の研究も臨床研究部でサポートしていくことになりました。私としても、放射線・リハビリテーション・臨床検査科などのパラメディカルの方にも研究をしていただきたく考えています。

現在、研究室は生化学研究室 (室長：矢倉道泰 病棟診療部長)、細菌研究室 (永井英明 外来臨床部長)、病態生理研究室 (新藤直子 医長)、病理疫学

研究室 (田村厚久 医長)、薬理研究室 (松井弘稔 医長)、看護研究室長 (亀尾慶子 副看護部長) の6室から成っており、申請された研究はいずれかの研究室に割り振られ、各室長から指導および必要な研究費の配分を受ける体制になっています。また、臨床研究部の助手さんたちに研究を援助してもらうことも可能です。

臨床研究はいつ申請していただいても結構です。申請する際に必要な書類や、書類の書き方については、私や各研究室長のほか、臨床研究部事務局に問い合わせてください。臨床研究を申請したいただいた後には、当院の臨床研究事前審査委員会および倫理審査委員会での審査を経て、研究の許可を得ていただく必要があります。ここまで書くと、研究を始めるまでの手間が大変だと思われる方もいらっしゃるかと想像しますが、書き方を慣れてしまえば、それほど負担はありません。

臨床研究部は、以上に記載した臨床研究の他に、治療薬の効果や安全性を検定する治験業務を受託・統括する業務も行っています。治験には、国立病院機構本部から提案されるもののほか、製薬会社から依頼されるものがあり、ともに臨床研究部に属する治験管理室 (CRC) を介して行われるようになっています。本院の治験管理室にはコーディネータが常勤しており、多少ともお手伝いができる体制となっております。忙しい日常業務の中で大変だとは思いますが、治験への積極的な参加もお願いします。

最初にも述べましたように、私は長年、病理業務を中心として勤務してきましたので、臨床面については知識が足りません。そのため、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、室長をはじめとする皆様のご意見を伺いながら、よりよい臨床研究部にする努力を続けていきたいと考えています。ご支援をよろしくお願いいたします。

臨床研究部長 蛇澤 晶

新任職員挨拶



4月1日付で村山医療センターより配置換えとなりました。7月号ということで、皆様のお手元に届いているころには35年目に入っており、東京病院は11施設目（旧国立病院5、旧国立療養所3、ハンセン、厚生省とその出先機関各1）となります。

パソコン、ワープロ以前の和文タイプライターで資料作り（訂正は切り貼り）をした経験もあります。また今まで勤務した病院（ハンセン、前施設を除く）は総て、転出後の早い時期にナショナルセンターになったり、建て替えられたりして同時に電子化されているようですが、私にとって電子カルテ、オーダリングは全く初めてで、毎日機械に振り回されています。さらには病院機能評価受審も初めての経験で、資料の作成、整理にも悩んでおりますが、今頃はその結果も出ていることでしょう。ルーチン業務の環境を含め、初めてのことばかりですので、ご指導、ご協力いただければ幸いです。

薬剤科長 栗野 厚直



本年4月1日より東京病院勤務を命じられ、赴任いたしました宮下と申します。

前任地である沼田病院は山岳に囲まれ風光明媚な場所にありましたが、東京病院においても構内が緑であふれており、前任地と同様、過ごしやすい環境で従事させていただいていることを感謝申し上げます。

東京病院は呼吸器科を中心に充実した診療機能を有し、また、自分の経験の中で最も規模の大きい施設ですが、現状では経営状態が厳しい状況にあります。経営企画室として取り組むべき課題も

多く、自分の力量で対応していけるのかと心細い思いもありますが、少しでも多くの患者様が東京病院を選択していただけますよう、微力ながら積極的に業務に取り組んでまいりたいと思いますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

経営企画室長 宮下 竜太郎



4月1日付で宇都宮病院より配置換えで参りました副看護部長の安里磨智子と申します。東京病院の都会的外観の建物と豊かな自然に恵まれた素晴らしい療養環境に感心しました。前施設では、3月に震災に遭いましたが、職員の協力体制で怪我人を出すこともなく避難することができました。その後も余震が続き、電気や水道もままならない中、余震が起こる度に病棟の安否を確認するために病院中を駆け回り、病棟復旧のため対応におわれましたが、職員一丸となり様々な問題を乗り越えてきました。東京病院に着任し、余震を余り感じることなく平常心で1日を過ごせることの幸せを痛感しています。

東京病院での最初の仕事は、電子カルテの運用と病院機能評価と聞き、経験のない大きな仕事に戸惑いながらも、全力で当たっています。東京病院が、魅力ある病院であるように努力して参りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

副看護部長 安里 磨智子

● レジデント紹介 ●



今年度より呼吸器内レジデントとして参りました井上恵理と申します。昨年度までは板橋区の中核病院で呼吸器内科の研修をしていましたが、さらに多くの症例を経験し、呼吸器内科一般の知識を高めるには呼吸器内科の高名な先生方がおられ、病床数も多く、結核病棟もある東京病院で研修したい、と強く希望し、この度念願が叶いました。まだ入職から3カ月が経過したばかりですが、上級医の先生方に教わることは多く、とても充実しています。当たり前なのが当たり前でできる呼吸器科医になり、地域の医療に貢献できるように頑張りますので宜しくお願い申し上げます。

呼吸器内科レジデント 井上 恵理



この4月から東京病院に勤務しています、大部幸です。

約10年前にも1年間勤務したことがあります。当時と比べて最新設備の病院に変身していることにびっくりしています。これまで主に地域医療に携わってきました。総合病院まで通院できない重篤な呼吸器疾患を持った患者さんは、その地域の医師が診療を担っています。毎日の診療の中で、地域医療でも最新の医学の知識の必要性を痛感し、東京病院で研鑽することにしました。よろしくお願い致します。

呼吸器内科レジデント 大部 幸



今年の4月より呼吸器内科後期研修医として東京大学病院呼吸器内科より参りました小林宏一と申します。初期研修2年間は関東労災病院という川崎にある病院で過ごし、プライマリケアを中心に研修してきました。その中で特に呼吸器疾患の種類の豊富さや画像読影に興味を持ち、呼吸器を専門にしようと決めた次第です。呼吸器を勉強するなら一度は東京病院へ！と思いやってき

ました。一生懸命頑張る所存ですので、どうぞよろしくお願い致します。

呼吸器内科レジデント 小林 宏一



今年の春から後期レジデントとしてお世話になっております押谷と申します。これまで2年間埼玉県の市中病院の呼吸器内科で後期研修を行ってまいりました。東京病院は結核含め呼吸器内科300床、医師数30名以上を誇る東日本有数の呼吸器専門施設で症例数が豊富で専門的な勉強させて頂く場所として最適と考え本年度より研修させて頂くこととなりました。実際に研修を行ってみて、多くの症例を経験させて頂き、カンファレンスも活発で充実した毎日を送っております。指導医の先生・病棟スタッフの方には迷惑をおかけする事も多々あるかと思いますが頑張っまいますのでよろしくお願い致します。

呼吸器内科レジデント 押谷 洋平



今年の4月より呼吸器内科レジデントとしてお世話になっております佐藤亮太と申します。今までは東京や山梨県の大学病院や市中病院での勤務、大学院での研究を行ってきました。今回、症例も多く非常に活動的な東京病院で、さらに専門的な研修をさせていただこうと参りました。病院スタッフの皆様とともに少しでも患者さんのお役に立てるように頑張りますので、よろしくお願い致します。

呼吸器内科レジデント 佐藤 亮太

第33回在宅酸素の会(HOTの会)を開催して

6階西病棟 看護師長 中原博美

当院では、年に2回、在宅酸素療法を受けている患者様の生活の質の向上を目的に、在宅酸素の会を開催しています。去る5月26日(木)に第33回在宅酸素の会が開催されました。今回の内容は、松井弘稔呼吸器内科医長による「咳」についての講義、呼吸療法認定士である野村敦子看護師 前田洋子看護師による「HOTと楽しく暮らそう」と題した日常生活上の注意点についての講義、池田梓理学療法士による在宅でできる呼吸リハビリテーションの実演、帝人在宅医療株式会社 三浦氏による東日本大震災時における在宅酸素療法患者様への対応と備えについての講義でした。

参加者は、在宅酸素療法を受けている患者様とご家族等、96名でした。参加した方からは、内容が分かりやすかった、すぐに自宅で実践できる、

震災時の対応について話が聞けて安心した等の感想が聞かれました。短い時間ながらも、とても有意義な時間を過ごすことができたように思います。次回の開催は、平成23年10月27日(木)の予定です。多くの方のご参加をお待ちしています。



平成23年度「清瀬市健康診査」の実施について

当院では、清瀬市在住の方を対象とした「清瀬市健康診査」を、下記の通り実施しております。

＜実施期間＞ 平成23年6月1日(水)より、平日(月～金)及び第2・4土曜日

＜対象となる方＞ 清瀬市に在住する方で、下記に該当する方が対象となります。

- 今年度40歳以上の方で、国民健康保険及び後期高齢者医療に加入されている方
- 今年度40歳以上の生活保護受給者の方で、清瀬市に健康診査を申し込まれた方
- 今年度30歳から39歳になる方で、清瀬市に健康診査を申し込まれた方

＜社会保険に加入されている方へ＞
社会保険に加入されている方も、受診が可能となっております。
受診の詳細については、下記の予約センターにお問い合わせください。

＜受診を希望される方は＞

当院は**完全予約制**となっております。なお、受診の対象となる方にはあらかじめ清瀬市から「**受診券**」が郵送されますので、**受診券が届いた方**からご予約をお願いします。

＜予約・問い合わせ先＞

東京病院予約センター TEL 042-491-2181 (直通)

※平日の8時30分～15時まで

東京病院長

独立行政法人国立病院機構 東京病院
外来診療担当医師表

(平成23年7月1日 現在)

〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1 TEL 042-491-2111 FAX 042-494-2168

< 予約センター >

TEL 042-491-2181

※平日の8時30分～15時00分

< 地域医療連携室 >

TEL 042-491-2934 FAX 042-491-2125

※平日の8時30分～15時30分 (医療機関からの問合せを除く)

【診療時間】

平日の8時30分～17時15分

【受付時間】

午前診療： 8時30分～11時00分 ※再来の方は8時00分より受付

※土・日・祝日・年末年始は休診です

午後診療： 12時30分～14時00分

診療科名		月		火		水		木		金	
		担当医名		担当医名		担当医名		担当医名		担当医名	
呼吸器科	新患・再来	午前	当番医	午前	当番医	午前	当番医	午前	当番医	午前	当番医
	再来	午前	松井(弘)	午前	☆赤川	午前	永井	午前	豊田	午前	田村
			☆益田		大島		長山		鈴木(純子)		松井(弘)
			鈴木(純子)		川島		赤司		☆益田		和田
			鈴木(淳)		吉田				川島		
			鈴木(純一)	午後	☆赤川		山根				
					☆日下		☆田村				
	間質性肺炎				午前	赤川					
	非結核性抗酸菌症				午前	倉島					
	いびき・COPD	午前	当番医	午前	当番医	午前	松井(弘)	午前	当番医	午前	当番医
	アスベスト				午前	臼井					
	咯血			午後	☆益田						
セカンドオピニオン(肺がん)							午後	☆田村			
感染症							午後	永井			
								益田			
								川島			
禁煙					午前	☆臼井					
消化器科	新患・再来	午前	当番医	午前	当番医	午前	当番医	午前	当番医	午前	当番医
	再来	午前	上司	午前	田中	午前	☆矢倉	午前	☆上司 ※1	午前	☆矢倉
		午後	☆瀬尾	午前	☆井利			午後	☆時田	午後	田中
								午後	☆矢倉		
糖尿病	新患・再来						午後	☆滝澤			
循環器科	新患・再来	午前	茅野	午前	岡橋	午前	松永	午前	茅野	午前	茅野
	再来	午前	☆小川					午前	☆岡橋	午前	松永
神経内科	新患・再来	午前	城山	午前	栗崎 相澤	午前	栗崎	午前	栗崎	午前	中村
	ものわずれ					午後	☆栗崎				
	高次脳機能障害							午後	☆栗崎		
呼吸器外科	新患・再来	午前	当番医	午前	井上(雄)	午前	桑野	午前	中島	午前	竹内
	再来									午前	上野 日野
消化器外科	新患・再来	午前	当番医 趙	午前	後藤 伊藤	午前	当番医 趙	午前	当番医 中田	午前	後藤 元吉
		午後		後藤						午後	☆元吉
	肝胆膵外科										
リハビリテーション科	新患	午前	濱田	午前	伊藤(郁)/濱田	午前	伊藤(郁)			午前	新藤
	再来	午前	伊藤(郁)	午前	新藤	午前	佐藤			午前	濱田
	地域リハビリ相談							午前	☆新藤		
眼科	新患・再来	午前	山田	午前	山田	午前	山田	午前	山田	午前	中山
			中山		中山		中山		中山		
整形外科	新患・再来	午前	☆堀	午前	堀	午前	堀			午前	堀
アレルギー科(喘息)	新患・再来	午前	庄司			午前	庄司	午前	庄司	午前	大島
放射線科	新患・再来									午前	三上
泌尿器科	新患・再来	午前	浅野					午後	朝隈 ※2	午後	實重 ※2
耳鼻咽喉科	新患・再来			午前	当番医						
緩和ケア科	新患							午前	三上	午前	永井
総合内科	新患	午前	茅野	午前	相澤	午前	瀬尾				

☆：予約の患者さまのみの診療です ※1：第2・4木曜日でのみの診療です ※2：受付は12時30分～14時30分までとなります

専門外来案内

専門外来名		診察日	このようなことでお悩みの方は、ご相談ください
呼吸器関係外来	禁煙(予約制)	水(午前)	タバコがどうしてもやめられない方。 (当院の禁煙外来は、平成20年1月より保険が適用となりました。)
	肺がんセカンドオピニオン(予約制)	木(午後)	肺がん治療についてのセカンドオピニオンを希望される方。[1時間まで10,500円]
	間質性肺炎	水(午前)	この病気は「息切れ」と「から咳」がよくある症状です。 治療が難しく、膠原病に合併する場合があります。
	非結核性抗酸菌症	水(午前)	咳や痰が出て、血痰があるなど一見結核にみえますが違います。 結核とそっくりの症状がこの疾病です。他人への感染はありません。
	いびきCOPD(睡眠時無呼吸症候群の検査)	月～金(午前)	ご家族などから「いびきが大きい、長く続く」あるいは「ねている時に息が止まる」などと言われた方。COPDを疑われたり、COPD呼吸リハビリを御希望の方。
	アスベスト(予約制)	水(午前)	アスベスト(石綿)を扱うお仕事をされた方。 アスベスト吸入による肺の病気についてご心配な方(予約制です)
ものわれ外来	水(午後)	最近ものわれのひどい方、アルツハイマー病などが心配な方。 (あらかじめ神経内科を受診して下さい。)	
高次脳機能外来	木(午後)	失語・失行や健忘などの診断、リハビリテーションへの紹介など(要神経内科外来受診。)	
肝胆脾	金(午後)	肝臓癌、胆嚢癌、胆管癌、膵臓癌や胆石症など、肝胆脾疾患の手術のご相談、お申し込み、セカンドオピニオン等に、専門の医師が対応いたします。	
地域リハビリ相談	木(午前)	連携医の先生方からかかりつけの患者様で、運動・言語・嚥下機能に問題があり、リハビリテーションをご希望の方。(かかりつけ医の情報提供書が必要です。)	

診療時間 8:30～17:15
 受付時間 午前8:30～11:00 午後12:30～14:00
 休診日 土・日・祝祭日および年末年始(12月29日～1月3日)

予約センター 042-491-2181
 (受付時間平日8:30～15:00まで)

医療連携室よりお知らせ 患者様をご紹介いただく場合(医療機関)

外来診療の予約 : 診療依頼書をFAX送信して下さい FAX 042-491-2125(8:30～15:30)
 CT・MRI検査の申し込み : 医療連携室へお電話下さい TEL 042-491-2934(8:30～17:15)

診療内容 病床数560床

- 総合内科科
- 呼吸器科科
- 消化器科科
- 循環器科科
- リハビリテーション科科
- 呼吸器外科科
- 消化器外科科
- 神経内科科
- 放射線科科
- 麻酔科科
- 整形外科科
- 緩和ケア科科
- アレルギー科科
- 泌尿器科科
- 耳鼻咽喉科科



交通

- 西武池袋線 清瀬駅南口よりタクシー5分、または南口バス2番乗り場より久米川駅行・所沢駅東口行は東京病院北下車、下里団地行・滝山営業所行・花小金井駅行は東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR武蔵野線 新秋津駅よりタクシー10分、または西武池袋線に乗り換え。
- 西武新宿線 久米川駅北口より清瀬駅南口行で東京病院北下車。または花小金井駅北口より清瀬駅南口行きで東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR中央線 武蔵小金井駅より清瀬駅南口行のバス路線があります。
- 東武東上線 志木駅南口より清瀬駅北口行のバス路線があります。
- お車で越しの際は正面よりお入り下さい。(駐車場265台)
 - 30分以内 無料
 - 31分～4時間 100円
 - 以後1時間毎 100円
 - (20時15分～7時 1時間毎300円)